

2022年度 一般選抜（前期日程）試験問題

小論文問題用紙

次の問題（会話、記録、ノート、グラフ）の内容を読み設問に答えなさい。ただし、設問には問題の内容のみに基づいて答えること。

【問題】

今年も夏休みが始まった。ある日のこと、広畑健太（12歳）は、父、広畑達也（45歳）が、笑みを浮かべながら、そして、なつかしそうな表情で、何かを読んでいる姿を見た。

以下、父親と息子との会話である。



広畑健太

ねえねえ、お父さん。
何してるの？



広畑達也

うん。部屋の整理をしていたら、
お父さんの中学生の時の日記が
出てきたんだよ！

健太

ねえねえ、どんなことが書いてあるの？

達也

そうだな……。例えば、昨日のサッカーの試合に負けた、監督は全員にうさぎ跳びでグラウンド10周させたとか。なつかしいな。

健太

うん？ 今、うさぎ跳びって言った？ 何、それ。
あ、そう言えばこの前、先生がうさぎ跳びって体には悪いから、今はやらないんだって言ってたよ。

達也

えっ。そうなのか。普通に特訓だと思っていたな。
もしかして、お父さんが子どもの頃の常識と今の常識って、違うことあるのかな……。
おい、じゃあ鎌倉幕府が成立したのはいつか？
まさか、歴史は変わることはないよな。答えられるか？

健太

1185年だよ。

達也

えっ。1192年じゃないのか。よく「いいくにつくろう、かまくらばくふ」って覚えたもんだよ。違うわけじゃないか。知らないのか？

健太

お父さんこそ、何言ってるんだよ。
ほら社会の教科書。ここに書いてあるでしょ。1185年！

達也

もしかすると、こんな他にもまだあるのかな。
そういえば、イライラするの、カルシウム不足だから牛乳飲めって、母さん言ってたけど、あれって、違ってたらしいもんな。あと最近テレビCMでもコラーゲン効果なんて言ってるけど、本当に肌の潤い効果あるのかな？ 食べたら消化するし……。

健太

何、独り言、言ってるんだよ。でも、思い込んでいる常識と真実の違いって面白そうだね。ちょうど夏休みの自由研究のテーマを探してたんだ。そうだ。常識と思ってたけど、本当は違うものを調べてみよう。お父さん、何かいいのがある？

達也

うん……。そう言えばかぜひくって、本当に寒いからかぜひくのかな。ほら、この前、父さん夏かぜひいただろう。寒いからかぜひくとは言うけど、違うよな。湿度や温度も関係あるのかな。

健太

それ、おもしろそうだね。そのアイデアいただき！

達也

そうだ。A市にいる母さんのお兄さん内科医だから、インタビューしてみたらどうかな。

健太

浜口のおじさんのこと？ 今度、お母さんが浜口のおじさんのところにお中元持って行くって言ってたから、付いて行ってみようかな。

以下、インタビュー当日の浜口のおじさんとの会話である。



広畑健太

おじさん、こんにちは。今日はね、いろいろ聞きたいことがあるんだよ。



浜口浩二

健太くん、こんにちは。今日はわざわざ、お母さんと来てくれてありがとうね。聞いてるよ。宿題だろう。今、お母さんは、おばさんと話しているようだから、じゃあ、今のうちにインタビューに答えるとするか。おもしろいテーマだね。さっき、お母さんから聞いたよ。最近の夏休みの宿題は、すごいんだね。おじさんが子どもの頃は夏休みの自由研究といったら、星の観察とか、メダカの観察とかだったよ。メダカと言えば、メダカと思ってたら、それがボウフラだったんだよ。蚊になってしまって、それで、おやじにすごく怒られて……。

健太

あっ。インタビューの内容、録音してもいい？このレコーダー、お父さんに借りたんだ。お父さんが、あとで話を聞き返して、文字にした方がいいって言うから。

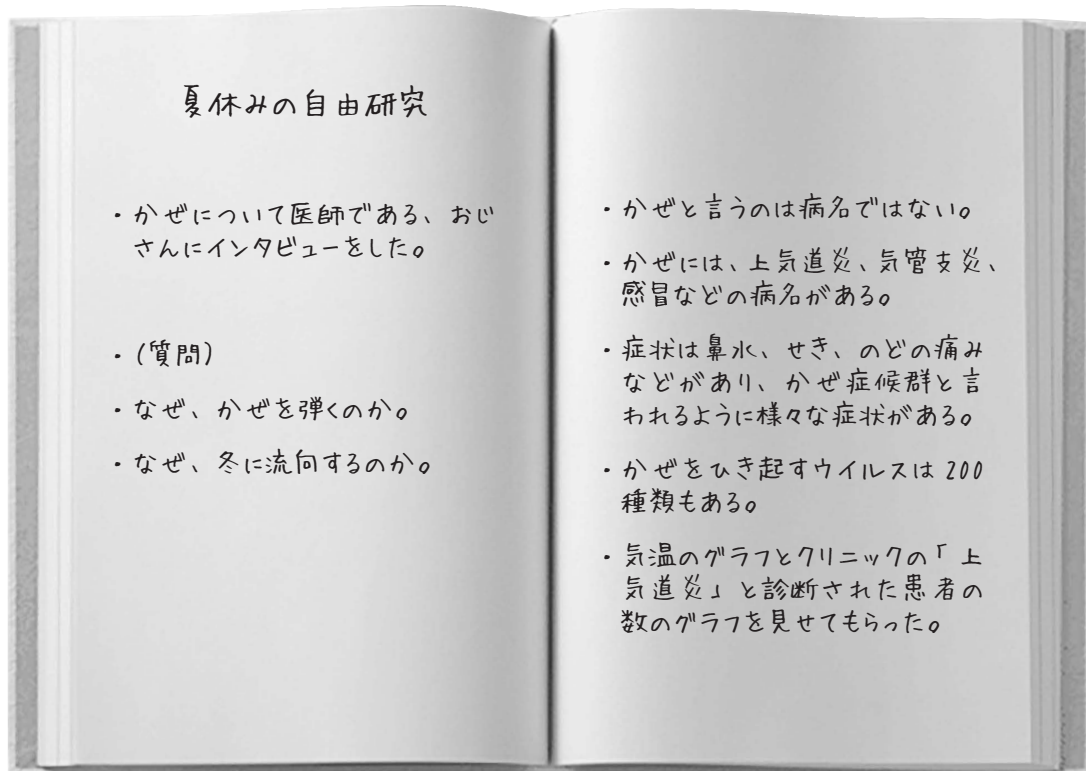
浩二

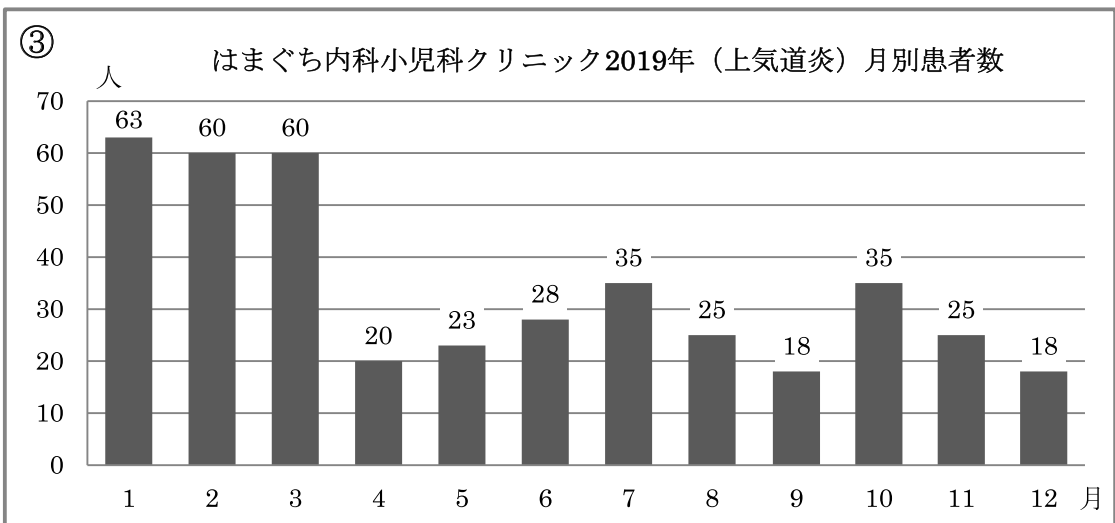
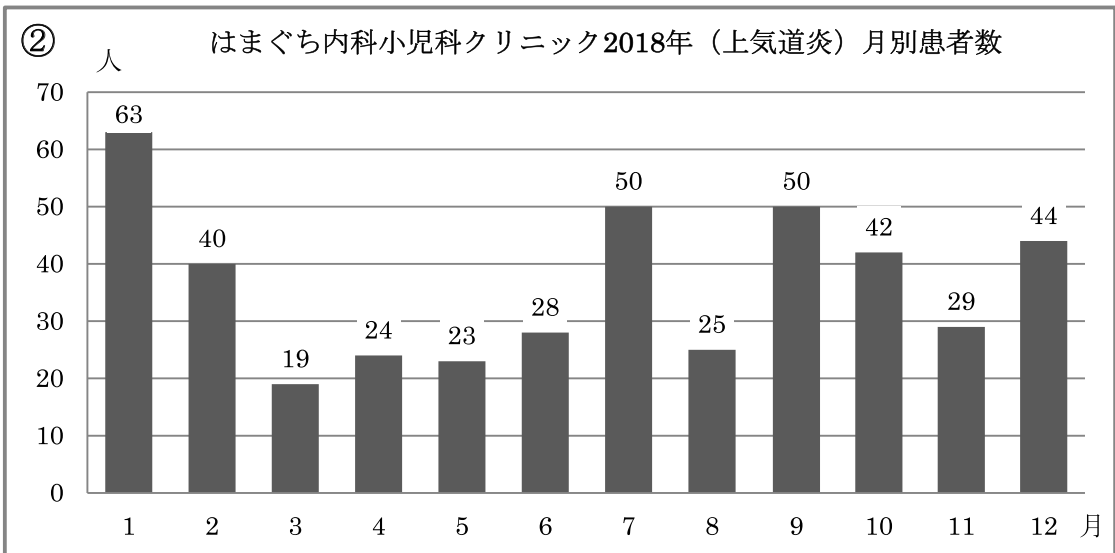
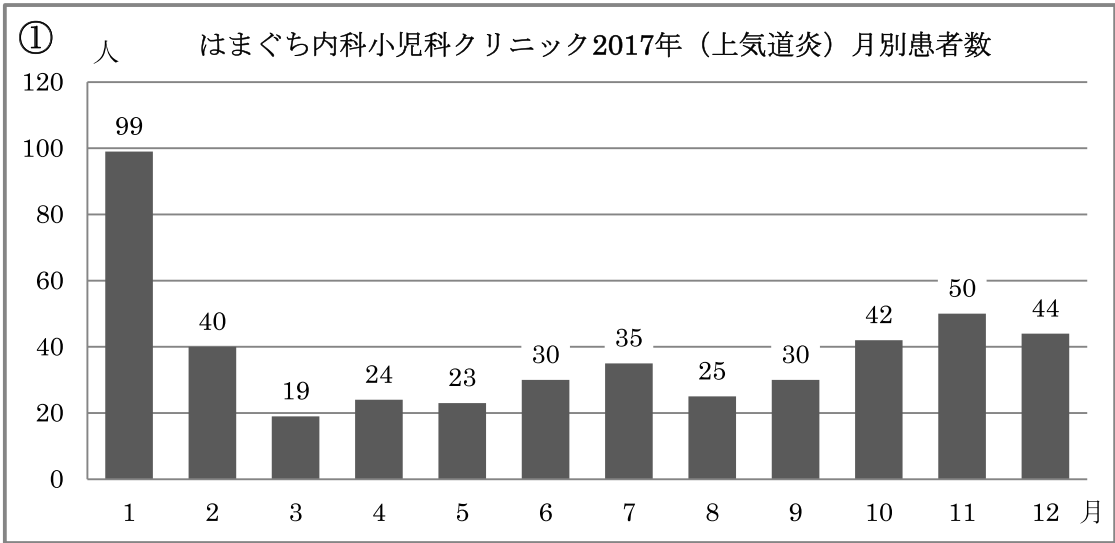
おお、本格的だね。じゃあ、どこから話そうかな。

後日、健太が録音を聞いて文字にしたものが、次の記録である。

おじさん	「すぐに教えてあげるのもいいんだけど、それじゃあ勉強にならないから、そうだな、このグラフとにらめっこしてごらん。このグラフは、おじさんのクリニックに来たかぜの患者さんの数だよ。」
おじさん	「このグラフの見方だけど、冬のシーズンは11月から3月、夏は6月から9月なんだ。」
自分	「うん？浜口のおじさん、病気の名前が、上気道炎って書いてあるけど、かぜじゃないの？」
おじさん	「いいところに気がついたね。そうなんだ。かぜって、実は病名ではないんだよ。あまり言うと難しくなるね。でも、かぜ症状の中で、よくある病気が上気道炎なんだよ。その他にも感冒とかも、かぜだね。感冒の漢字、わかるかね。感じるに冒險の冒だよ。そのほとんどがウイルスによるものなんだよ。」
自分	「インフルエンザとかぜは違うの？」
おじさん	「いいことに気がついたね。おじさんがまとめた患者さんの数は、インフルエンザと診断した人は除いた人数なんだよ。」
おじさん	「そうそう、確か寒いからかぜひきさんが多いのかって言うのが疑問だったよね。確か、気象台のホームページに年間の平均気温のデータがあるんじゃないのかな。おじさんのパソコンから調べてごらん。」
自分	「おじさん、ありがとう。調べてみるよ。」

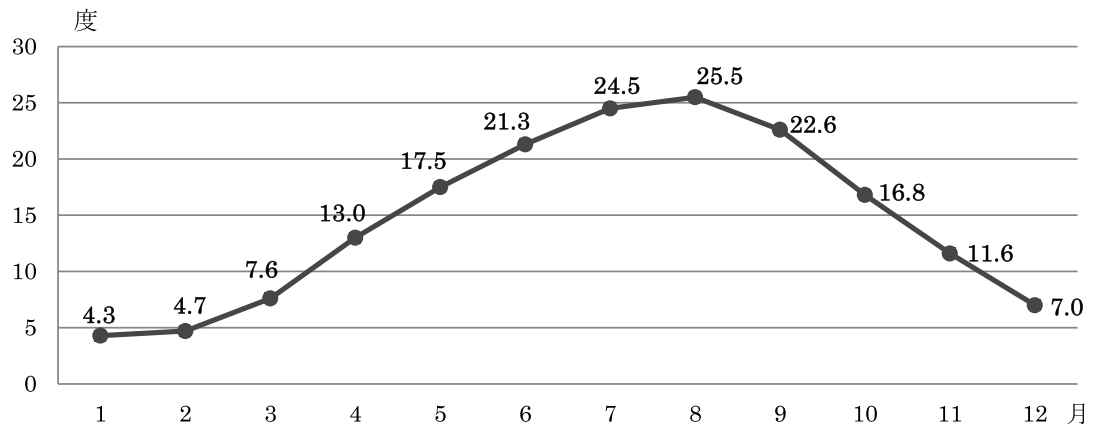
おじさんからの聞き取りをもとに調べてまとめた健太のノートである。





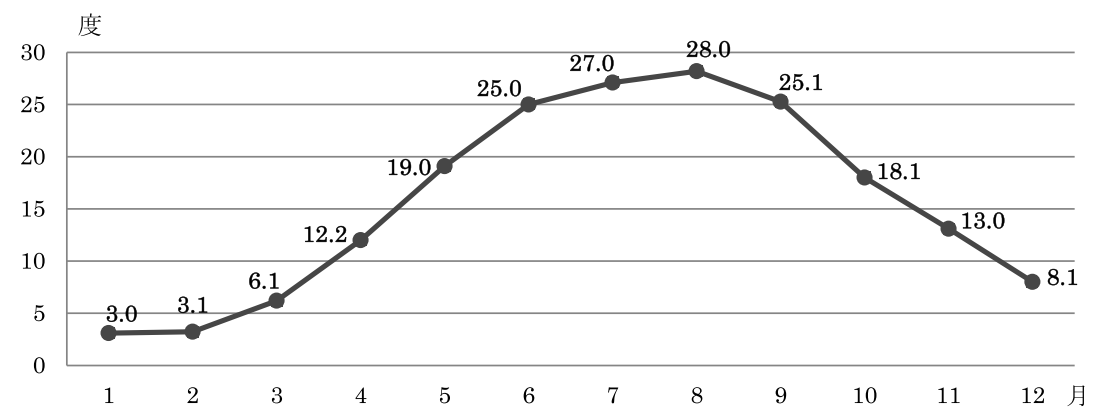
④

A市の2017年月平均気温



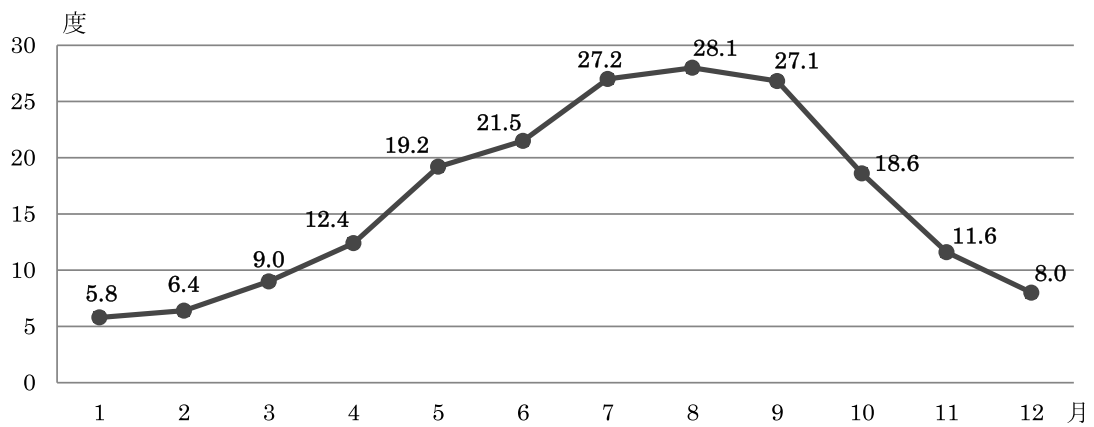
⑤

A市の2018年月平均気温



⑥

A市の2019年月平均気温



(設問)

◎解答上の注意

- ・ 解答は指定された欄内に記入し、欄外には書いてはいけない。
- ・ 解答はなるべく簡潔に記述しなさい。なお、記述の分量は採点の対象とはしない。
- ・ グラフから数値を算出する場合は、小数第2位を四捨五入しなさい。

(留意事項)

※問題に記載されている登場人物、医療機関名、月別患者数、月平均気温等はすべて架空に設定されたものである。

問1

広畑健太の p.4 の記録およびノートに3カ所、誤った漢字が使われている。その漢字3字を抜き出して書きなさい。

問2

広畑達也と広畑健太との p.2 の会話にある下線部「こんなの」とは何を指しているのか。簡潔に説明しなさい。

問3

インタビューを終えた後の父、広畑達也と広畑健太との会話において、健太の回答として事実にあてはまるものをすべて選び、その番号を答えなさい。ただし、夏とは6月から9月の4ヵ月間、冬は11月から翌年3月までの5ヵ月間とする。

- (1) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「そうだね。グラフを見ると、2018年は2017年よりも患者数が少ないんだよ。」
- (2) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「冷夏の夏と寒い冬の季節には、どちらも患者数が多いんだよね。だから気温が低いと患者数は増えるんだよ。」
- (3) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「それがね、季節の変わり目、例えば、冬に変わる前の月と夏に変わる前の月には、気温が不安定だから、必ず患者数が増えるんだよね。」
- (4) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「冬の月の平均患者数は、やはり夏の月の平均患者数より多いんだよ。」
- (5) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「それがねえ、インフルエンザの患者数が多い月は、上気道炎の患者数も多いんだよ。」
- (6) 達也「おじさんに聞いて、何がわかったの？」
健太「患者数が夏でも冬と同じか、冬よりも多い月があるんだよ。」

問4

浜口浩二のもとにインタビューに訪れた広畑健太の聞き取り調査は終わった。そこで、健太はどのように自由研究をまとめたのであろうか。調査の方法および結果を含んだ概要を60字以内で作成しなさい。ただし算用数字、記号(例:()「」)、句読点(。および、)を用いる場合は、それぞれ1字として数える。